

【表紙】

E01332)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 E01332)

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、奥村金属(株)は、当社が保有する株式のすべてを当社が新たに設立したDaishin P&T (株)に承継させ、Daishin P&T (株)の発行済株式のすべてを日本産業パートナーズ(株)傘下の特定目的会社へ譲渡しております。

また、Furukawa Metal (Thailand) Public Co.,Ltd.は、当社が直接出資する持分のすべてを日本産業パートナーズ(株)傘下の特定目的会社へ譲渡しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更があった事項は以下のとおりであります。また、以下の見出しに付された項 1

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

（経営成績の分析）

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の当第2四半期連結累計期間の業績は、電装エレクトロニクスセグメントの自動車部品事業及びインフラセグメントのエネルギーインフラ事業を中心に、新型コロナウイルスの影響による海外子会社の操業低下影響等が大きく発現し、減収減益となりました。

その結果、売上高は3,545億円（前年同期比22.1%減）、営業損失は33億円（前年同期比141億円悪化）となりました。営業利益の減少に加え、持分法投資損益の悪化により、経常損失は60億円（前年同期比143億円悪化）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産処分益の計上がありました。製品補償引当金繰入額、事

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

4 . 2020年7月20日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、2020年7月15日現在で以下のとおり株式を所有している旨の記載がありますが、当社として2020年9月30日現在における実質保有状況の確認がで

第4 【経理の状況】

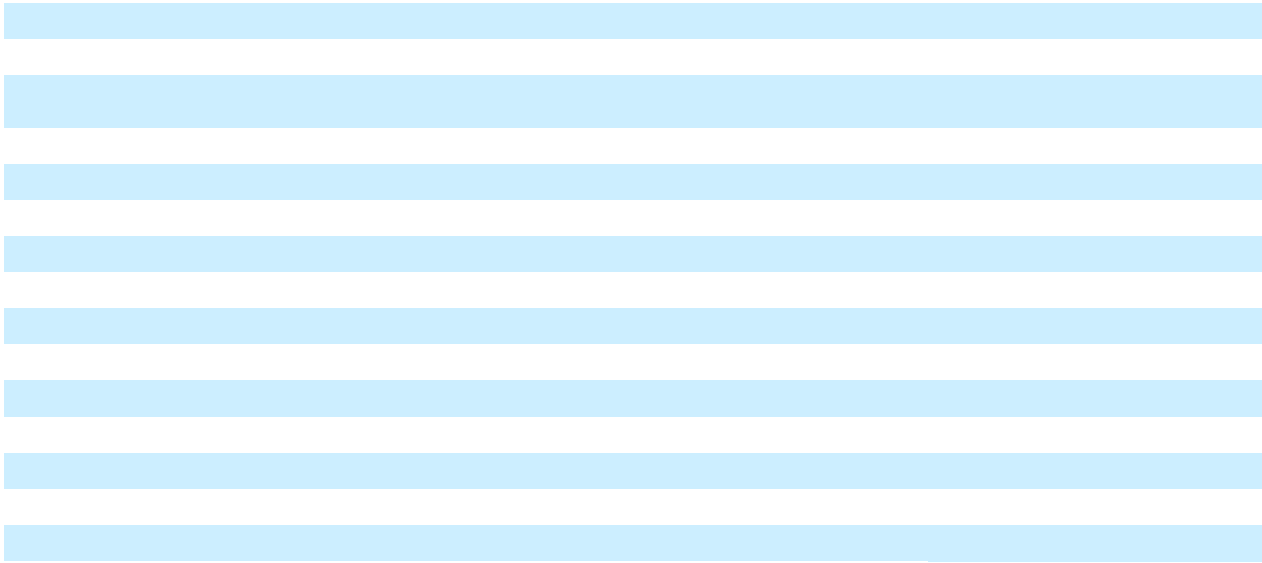
1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

E01332)

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]



(株主資本等関係)
前第2 四半杉関係)

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目		

事業分離日
2020年10月1日

法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認めら